



まな て び 学びの手引き

子どもたちが生きていく未来の社会は、グローバル化や技術革新、少子高齢化など、社会情勢が大きく変わって
いくことが予想されています。私たちは、このような変化の中でも一人ひとりの子どもが、学校・家庭・地域で多くの
経験や出会いを重ね、多くのことを学び、これから先の未来で人間として豊かにそして 幸 せに成長してくれることを
願っています。

子どもたちが、豊かに生きていく力を育てるためには、学校、家庭・地域の連携が不可欠です。学校教育で
育まれる「学ぶ力」が、家庭・地域とともに「生きる力」へ、そして子どもたちの未来へとつながっていくように、ぜひ
ご家庭でも、子どもの育ちへの力添えをお願いします。

<学校と家庭・地域で子どもの生きる力を育てていきましょう!>

◆学校では◆

◇「主体的・対話的で深い学び」を実現します。

- ・「見通しをもって、粘り強く取り組む力」が身につく授業にします。
- ・一つひとつの知識がつながり、「わかった!」「おもしろい!」と思える授業にします。
- ・自分の学びを振り返り、次の学びや、生活に生かす力をはぐくむ授業にします。
- ・周りの人たちと共に考え、学び、新しい発見や豊かな発想が生まれる授業にします。

◇「カリキュラム・マネジメント」を確立して、教育活動の質を高めめます。

- ・学校教育の効果を、つねに検証して改善します。
- ・教師が連携し、複数の教科等の接続をはかりながら、授業をつくりまします。
- ・地域と連携し、よりよい学校教育を目指します。

◆家庭では◆

◇保護者の皆さまの働きかけが子どもたちの「生きる力」の原動力となります。

- ・学校や友達のこと、地域や社会の出来事など、家庭でたくさん話しましょう。
- ・スマートフォン・タブレット・テレビを見る時間などのルールを決めましょう。
- ・子どもに本や新聞を読むことをすすめていきましょう。
- ・子どもに最後までやり抜くことの大切さを伝えましょう。
- ・自分の考えをしっかりと伝えられるように、促しましょう。
- ・地域や社会に貢献するなど人の役に立つ人間になることの大切さを伝えましょう。

※働きかけがあると子どもの学力が高いという傾向があります。

(平成29年度全国学力・学習状況調査を活用した専門的な課題分析に関する調査研究)

◆地域では◆

◇多様な人々との関わり、様々な経験を重ねていく中で子どもたちの「生きる力」が育まれます。

- ・子どもたちに声を掛けたり見守ったりする取組を連携して進めていきます。(登下校の見守り、挨拶など)
- ・様々な専門知識・能力をもった地域人材が関わることで、実社会に裏打ちされた幅広い能力・知識を育成します。

まな みち <学びの道すじ>

子どもたちの学力・生きる力は、学校と家庭が連携して育てていきましょう。

● 家庭ではぐくまれる学力の土台 ●

基本的な生活習慣
<ul style="list-style-type: none"> 正しい生活リズムをつくる。 「早寝・早起き・朝ごはん」「あいさつ」 栄養のバランスのとれた食生活をおくる。 家庭で一日の出来事について話す。 本に親しむ習慣をつける。 情報モラルを身につける。 家庭学習をする。 「生活体験」「教科学習」「自主学习」

★「見えない学力」が身につく、「見える学力」の土台となります。

見える学力
学校の成績、テストの点数など、目に見える学習効果のことです。

見えない学力
意欲、自分をコントロールする力、生活リズムを整える力、自己決定力、集中力、課題発見力、課題解決力、自尊感情などです。

● 学校ではぐくまれる学力の土台 ●

「聞く」「話す」「書く」力をつけることが、学ぶ力の向上につながります。

就学前
<ul style="list-style-type: none"> 自分の気持ちや考え、体験したことなどを、表情やしぐさ・自分なりの言葉や、書くこと、描くことなどで表現したり、人の言葉や話をよく聞いたりして伝え合おうとする。



小学校			
	聞く	話す	書く
低学年	<ul style="list-style-type: none"> 相手の話を最後までしっかり聞く。 大事なことを聞き取る。 	<ul style="list-style-type: none"> みんなの前で、はきはきと話す。 順序を考えながら、相手にわかりやすいように話す。 	<ul style="list-style-type: none"> 簡単な文を書く。 相手や目的を考えながら、簡単な文章を書く。
中学年	<ul style="list-style-type: none"> 相手の話の中心に気をつけて、正しく聞き取る。 	<ul style="list-style-type: none"> 筋道を立てて、相手や目的に応じた適切な言葉づかいで話す。 	<ul style="list-style-type: none"> 相手や目的に応じた文章を書く。
高学年	<ul style="list-style-type: none"> 話し手の意図を考えながら、話の内容を正しく聞き取る。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の意図が相手にわかるように工夫しながら的確に話す。 	<ul style="list-style-type: none"> 目的や意図に応じて自分の考えが伝わるように効果的に書く。



中学校			
	聞く	話す	書く
	<ul style="list-style-type: none"> 相手の話を受け止め、伝えようとしていることを正確に聞き取る。 相手の伝えたいことを聞き取り、そこから自分の考えを深める。 	<ul style="list-style-type: none"> 相手の思いを考えながら、自分の考えをまとめ、わかりやすく話す。 目的や場面に応じて的確に話す。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の主張が相手に伝わるように書く。 自分の考えをまとめ、表現を工夫して書く。



「基礎基本の学力の定着」「コミュニケーション能力の育成」「思いを受け止め認めあえる集団づくり」「自尊感情（自分を大切にする気持ち）の育成」をめざします。